

第104期中間期 株主通信

2019年1月1日～2019年6月30日



Contents

- 02 社長メッセージ
- 03 連結財務ハイライト
- 04 新たな成長戦略
- 05 TOPICS (2019年上半期の主な出来事)
- 06 株主優待のご案内/株式の状況/株主メモ

TOYO TIRE 株式会社 証券コード 5105

概要 (2019年6月30日現在)

商号	TOYO TIRE株式会社	従業員数	12,923名(連結)
(英文表示)	Toyo Tire Corporation	本社	〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号 TEL:(072)789-9100
設立	1945年8月1日	工場	仙台工場/桑名工場/兵庫事業所
資本金	55,935,326,411円	主要製品	各種タイヤ(乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用)、その他タイヤ関連製品 自動車用部品(防振ゴム、トラック・バス用空気バネ、等速ジョイントブーツ)

社長メッセージ

当期の経営成績

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第104期中間期(2019年1月1日から2019年6月30日)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当期における経済環境は、米国では良好な雇用・所得環境を背景に個人消費が堅調に推移し景気回復が持続しました。欧州では英国のEU離脱問題による混乱や政情不安等により景気の減速が続きました。わが国では、景気は緩やかな回復基調にあるものの、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられるなど先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは2017年を起点とする4ヵ年の中期経営計画「中計'17」の目標達成に向けて、北米市場の商品力強化と増販に向けた体制強化、商品ミックスの最適化、開発力・技術力の進化、ブランド力の向上と効率的な供給体制の構築などに取り組みました。

その結果、当期の売上高は1,785億58百万円(前年同期比3.9%減)、営業利益は153億44百万円(同26.2%減)、経常利益は138億52百万円(同27.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億21百万円(同6.4%増)となりました。

なお、売上高の前年同期比には、昨年末に実施した自動車部品事業セグメントの軟質ウレタン事業(バンパーの販売事業を除く)の譲渡による影響額29億89百万円が含まれています。

通期の見通し

2019年度通期の業績見通しにつきましては、主として、想定為替レートを円高に見直したこと等により、売上高については前回発表時(2019年5月10日)の予想を下方修正いたしました。売上高は3,850億円(前年同期比2.1%減)、営業利益は400億円(同5.6%減)、経常利益は372億円(同3.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は239億円(同126.5%増)を見込んでいます。

なお、当期における中間配当は1株当たり20円としました。期末配当金は1株当たり25円とさせていただきます。

新たな成長戦略

第104期中間期の経営成績を開示した8月9日、当社は新たな企業ステージに向けた成長戦略(骨子)を同時に発表しました。収益の柱である北米事業をさらに強固にしながら、これを成長の糧とし、競争力のある高性能タイヤを生産供給していく欧州新工場の建設を起点に世界での供給ミックスを再編、グローバルに増販の底上げを図っていきます。また、欧州R&Dセンター設置によって、R&Dグローバル三極体制も確立。次代に向けた技術革新を進め、製品戦闘力を高めていく所存です。

新しいブランドステートメント「まだ、走ったことのない道へ。(Open Roads Await)」は、そのような精神を持った会社でありたいという意思を象徴する言葉です。数々の新たな投資は単なる生き残りの対策ではなく、勝ち残りをかけた戦略として、社員一人ひとりが魂を込めて取り組んでまいります。株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

清水隆史

実績/予想と「中計'17」

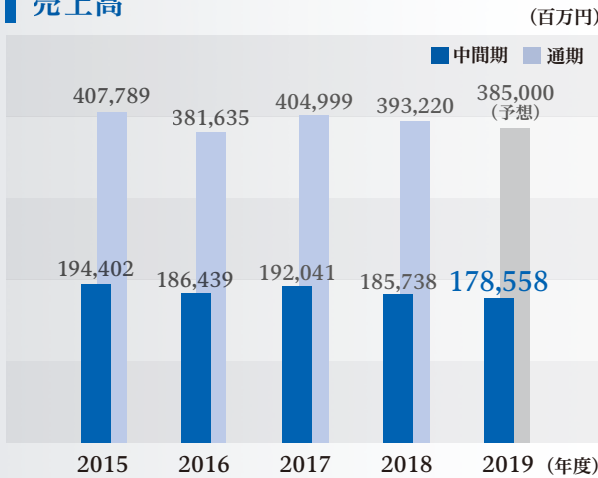
	2018年度実績	2019年度予想	「中計'17」 2020年度目標
売上高	3,932億円	3,850億円	4,800億円
営業利益	423億円	400億円	600億円
営業利益率	10.8%	10.4%	12.5%

1株当たり配当金

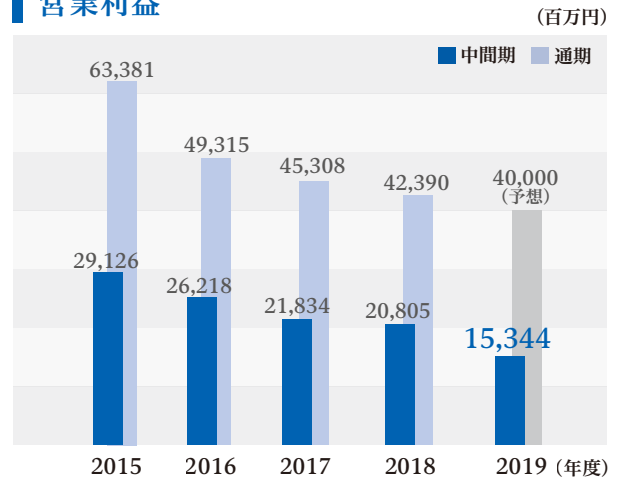
2018年度		2019年度	
中間期	期末	中間期	期末(予想)
20円	25円	20円	25円

連結財務ハイライト

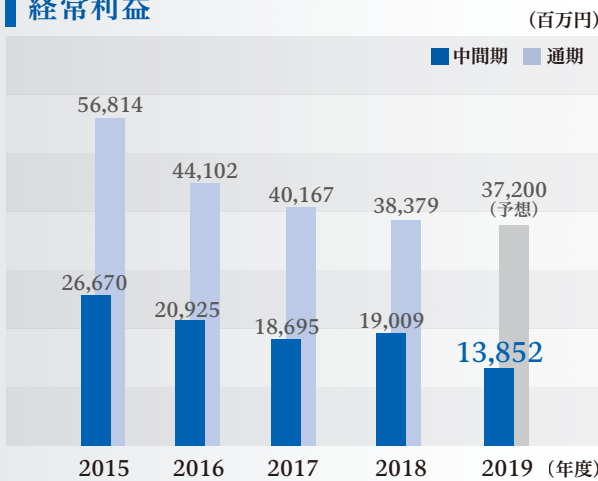
売上高



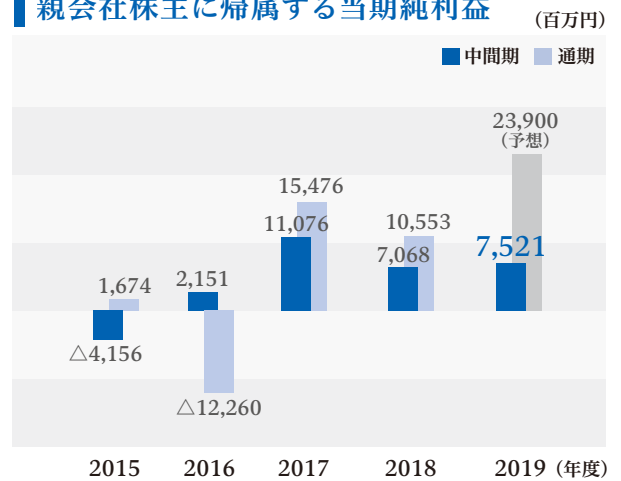
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



※(予想)は2019年8月9日発表値

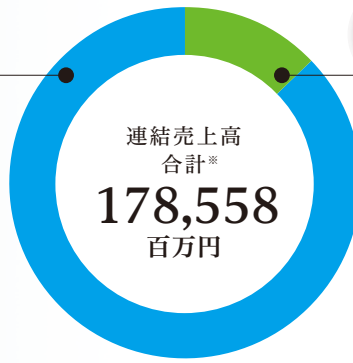
事業別売上高比率



タイヤ事業

売上高は1,556億34百万円(前年同期比2.8%減)となり、営業利益は161億14百万円(同28.9%減)となりました。

155,634百万円
87.2%



※売上高の合計には、その他事業の売上高及び調整額が含まれています。

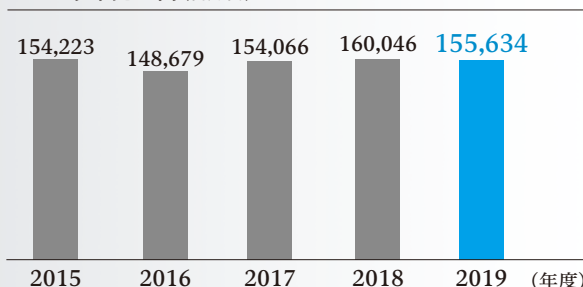
自動車部品事業

売上高は228億88百万円(前年同期比10.8%減)となり、営業損失は7億56百万円(前年同期は19億1百万円の損失)となりました。

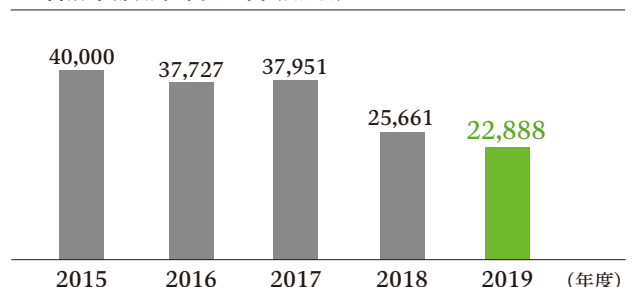
22,888百万円
12.8%



タイヤ事業売上高(百万円)



自動車部品事業売上高(百万円)



※2017年度まではダイバーテック事業(化工品事業及び硬質ウレタン事業を含む)の数値

新たな成長戦略

当社は現在、2017年からスタートした4カ年の中期経営計画を遂行しているところですが、今後、当社が新たな企業ステージに到達するための成長戦略のうち、事業経営にフォーカスした骨子の一部をご紹介します。

欧州新工場を起点にした、グローバル供給の再編・底上げ

セルビア共和国にタイヤ新工場を設立

本年9月にセルビア共和国にタイヤ生産子会社を設立し、2020年5月にグループ8拠点目となるタイヤ生産工場の建設に着手します。2022年1月よりタイヤ生産を開始、2023年夏には年産約500万本のタイヤ生産体制を確立する計画です。これにより、製品出荷時の関税面・物流面でのメリットを実現するとともに、グローバルにおけるタイヤ生産供給体制の増強とさらなる最適化を図ります。

【新工場の概要】

■ 建設予定地	セルビア共和国 ヴォイヴォディナ自治州 インジア市
■ 敷地面積	約60万㎡(約150エーカー)
■ 生産開始	2022年1月(予定)
■ 生産能力	年産500万本(乗用車用タイヤ換算)
■ 従業員数	約500名
■ 投資額	約488億円(390.5百万ユーロ)
■ 生産品目	乗用車用、ライトトラック用ラジアルタイヤ

米国タイヤ製造工場の生産能力増強

北米自動車市場ではピックアップトラックや大型SUV車両の販売が堅調で、こうした車両車両に装着される意匠性の高い大口径タイヤは、当社が競争優位性を有しています。2020年以降も引き続き、当カテゴリのタイヤは堅調な需要拡大が見込まれることから、米国のタイヤ製造工場「Toyo Tire North America Manufacturing Inc.」において、さらなる生産能力の増強(第5期能力増強の第2段階)に着手することを決定しました。(2021年7月完了予定)



米国タイヤ工場全景

競争力を磨き、グローバルに進化させる技術開発体制

本年秋、ドイツ連邦共和国ノルドラインベストファーレン州ヴィリッヒ市に、欧州初の技術開発拠点「欧州R&Dセンター」を設立し、「R&Dグローバル3極体制」を実際に稼働させてまいります。

日本は全機能を有するグローバル・ヘッドクォーター、北米はマーケットトレンドをいち早く入手し、市場に密着して顧客志向の商品開発を強みとします。そして、欧州においては、最先端、かつ競争力を意識した高性能化への挑戦、そして、次世代モビリティへの技術革新を進めていきます。

それぞれ地域の特徴を生かした技術・商品開発に注力する一方、グローバルでの技術共有や商品共有をタイムリーに循環、共有し商品競争力の向上と開発スピードを加速してまいります。



日本

R&D機能の連動



欧州R&D
2019年秋稼働予定



米国R&D
2019年春稼働

2019年上半期の 主な出来事



2019.06.07

新ブランドステートメントを制定

「道なき大地であっても勇気をもって果敢に走り、自ら新たな道をつくっていく」というフロンティア精神を体現していく企業でありたいと考え、新ブランドステートメント『まだ、走ったことのない道へ。』を制定しました。



2019.04.07

「タイヤ安全啓発活動」を実施



「タイヤの日」である4月8日を基点に、全国で安全啓発活動を実施しました。本年度は、タイヤの空気圧の違いによる操縦安定性などが体感できるドライブシミュレーションシステムを初めて導入。こうした独自の取り組みが評価され、当活動は日刊自動車新聞用品大賞2019で特別賞を受賞しました。

2019.04.01

「OPEN COUNTRY」シリーズの サイズラインアップを国内市場向けに拡充



OPEN COUNTRY M/T



OPEN COUNTRY R/T

2019.03.28

第103回定時株主総会を開催

2019.03.18

「PROXES Sport SUV」が
ロシア自動車専門誌で最高評価を獲得

2019.03.08

「TOYO TIREのSDGs-2030年のあるべき姿」
を策定

2019.02.15

2018年度通期決算を発表

2019.01.29

米国タイヤ工場の累計生産本数が5,000万本を突破

2019.01.17

国内タイヤ工場の熱エネルギー源を天然ガスに転換

2019.01.01

「TOYO TIRE株式会社」に社名変更を実施

2019.06.28

「CSR Report 2019」を発行

2019.06.27

国内市販用タイヤ
出荷価格の改定(値上げ)を発表
(8月1日当社出荷分より適用)

2019.06.01

NITTOブランドの
SUV用タイヤ2商品を
国内市場で展開



Mud Grappler



Trail Grappler M/T

2019.05.10

2019年度
第1四半期決算を発表

2019.04.29

米国タイヤ工場
第5期能力増強(第1段階)で
導入した新生産ライン稼働

2019.04.20~21

「東北カスタムカーショー」に
当社ブースを出展

2019.03.23

企業の森「TOYO TIRES 緑のつながり・三重」
遊歩道が完成

桑名工場が2014年より取り組んでいる森林保全活動において、従業員とその家族を中心に地域住民の皆様にも参画いただいで段階的に整備を続けてきた全長約400mの遊歩道が完成しました。



2019.01.11~13

「TOKYO AUTO SALON 2019」に
ブースを出展



株主優待のご案内



株主優待制度をご活用ください

対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様。

応募カードおよび専用封筒の発送時期

毎年3月末に発送します。

株主優待の概要

トーヨータイヤまたはニットータイヤをご購入いただいた方に、下記条件に応じてクオ・カードを贈呈します。

- サイズに関わらず1本から3本、お買い上げの場合 **1,000円**
- 15インチ以下かつ4本以上、お買い上げの場合 **2,000円**
- 16インチ以上かつ4本以上、お買い上げの場合 **3,000円**

商品券として
使えるクオ・カード
をお届け!



応募カード*

レシートまたは領収書

トーヨータイヤまたは
ニットータイヤ

専用封筒*

※毎期末に
お届け



株式の状況

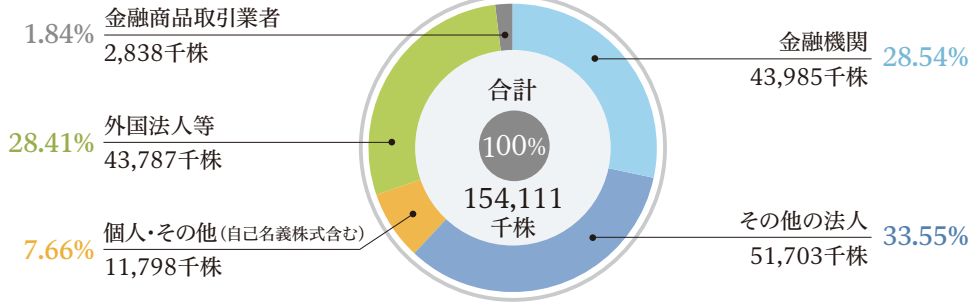
(2019年6月30日現在)

株主数

11,959名

発行済株式総数

154,111,029株



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで

配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)

定時株主総会 毎年3月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

公告方法 電子公告【公告掲載URL】<https://www.toyotires.co.jp/ir/information/koukoku/>
但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問い合わせ

お問い合わせの内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取・買増のご請求 ● 配当金の受取方法のご指定 ● 相続に関するお手続き 	お取引の証券会社等 ※特別口座に記録された株式については、 下記の三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替手続き ● 未払配当金に関するご照会 ● その他株式事務に関するお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)

TOYO TIRE 株式会社

本社 〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号
ホームページアドレス <https://www.toyotires.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。